

令和7年度 第1回（5月）大磯町議会 議会報告会
町民からの「町政に対する意見・要望・提言」

【新庁舎整備について】

- 庁舎だけではなく、消防庁舎や学校の整備も待っている。喫緊の問題と長期的な課題を整理し、今一度、代替地を調べる必要があるのでは。
- デザインはいいものに。お金の話で、手が届かないのなら止めるか、代替案や分散化はできないか。
- 建設費用 84 億円は高い感覚で、令和 7 年度の一般会計予算の約 7 割である。現庁舎の用地は建築にあたり規制がかかり費用も嵩むので、別の土地を探し計画を見直すべき。大磯町の中央地や駅前の民間研修施設の購入なども検討しては。
- 町長は SNS で新庁舎として駅前の民間研修施設を買い取るみたいなことが書かれているが。
- 議会が決めたからやらなければいけないと聞いたが、考え直したらどうか。代替案がある。
- 代替案の一つとして大磯駅前の民間研修施設の話は。
- 反対ではないが、1.5 倍の 72.8 億円には驚いた。正しい金額なのか。建物を小さくする、建てられるところを探すか。民間研修施設に対しては少し懐疑的である。
- 過去の議論ではなく、未来をどうするか。人口が減っていくのは明らかなこのタイミングで見直すべき。
- 現計画が唯一ならやらなければならないが、大反対。入口が狭いところに投資の価値があるか冷静になって考えてほしい。
- 人の命がかかっているならば建て替えた方がいいが、今の場所はお金がかかるのではないか。
- 災害後の復興のためにも防災拠点が必要であるとのことだが、災害の前に町民の家の耐震補助のためにお金を使ってはどうか。
- 82.2 億円かかることについて、町長は議会が認めていると言うが、今、物価が上がっているから、ほかの自治体では、工事ができなく変更している。本当にこのまま進めるのか。
- 現在の敷地は海沿いで津波の危険があり、風致地区で思ったように建物を建てられず不経済で庁舎建設に適していない。発想を変えて別に土地を探すべき。
- さまざまな規制により代替地が見つからないという説明であったが、制度の縛りを突破するのが政治家の仕事だ。
- 現庁舎ではなく他の場所を検討することは出来ないのか。
- 交付税が措置されるというが、それもそもそも税金である。
- 整備にかかる経費が膨大になる。決まっても考え直すべき。
- 経済的な話は大前提。45 億円でも一人 20 万円、3 人で 60 万円。
- 新庁舎を小さくしてほしい。町民に負担を強いることができるのか。
- デジタル・トランスフォーメーションにより、役場を縮小できる可能性があるのではないか。

○町長の「議会が決議したから」という説明や「高騰した整備費用が町民負担になる」という物言いが引っ掛かる。

【社会福祉協議会について】

- 社会福祉協議会は予算がない、収益が上がらない。福祉課に吸収してはどうか。また、施設を売ってはいかがか。
- 社会福祉協議会は町民から会費を集めたり、公的資金も入っているのにいつまで放っておくのか。社会福祉協議会が独自で頑張るところが見えない。

【高齢・障がい福祉について】

- 今「子ども」と言われる世代の施策が多いが、高齢者には目立った事業がないのが残念。子育てにお金をかけ過ぎているのではないか。高齢者に対する新規事業や拡充を考えてほしい。
- 認知症対応の施設で働いている。本人・家族からパワハラを受け職員が困っている。
- 子育て支援はたくさんやっているが、精神障がい者はどこを頼ればいいのか。

【いじめ防止対策について】

- いじめ問題を6年もかけて解決できない状況では、示談にしてはどうか。
- いじめ基本条例（子どもをいじめから守る条例）についてどうなっているのか。
- いじめ防止条例を早く制定しないと、町長の任期がなくなるのでは。

【その他について】

- 認定こども園も新庁舎も、町長の進め方がよくなかったのではないか。不信任案が出てもおかしくない状況だと思う。
- 京都・奈良は観光客で混雑、ホテル代も高いと聞く。中学校の修学旅行先の見直しが必要では。
- 国府の住民にとって、時間は短く回数の多い花火はやめて、お米を配ってほしいと思う。